



shaping your dreams

OUR PATH IS CLEAR

OSGレポート

[ダイジェスト版]

第106期 上半期のご報告

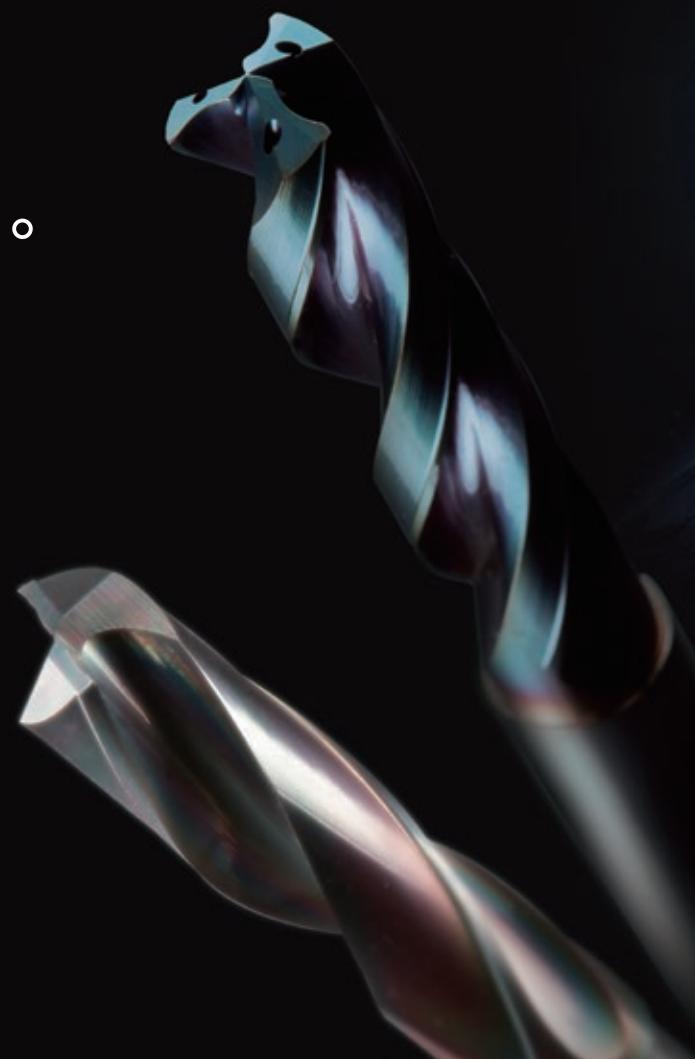
OSG Corporation

【企業理念】地球会社

総合工具メーカーとして、
人々の暮らしに欠かせない
さまざまな製品づくりに携わり、
世界33カ国に製造・販売・技術サポート体制を
築いてまいりました。
今後もさらに地球規模で事業を展開し、
世界のものづくり産業に貢献いたします。

80周年、その先へ。

創業から変わることない
チャレンジ精神で、
ダイナミックに変容する
時代を乗り越え、
2038年に迎える100周年に向け、
オーエスジーは、
持続的な成長を遂げていきます。



CONTENTS

- 03 Cover Story
- 05 社長メッセージ
- 08 コーポレート・ガバナンス
- 09 財務・非財務ハイライト
- 10 会社情報／株式情報

本冊子について

本冊子は、オーエスジーの統合報告書「OSGレポート2017」のダイジェスト版として制作されています。

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すオーエスジーの姿を分かりやすくまとめました。

株主の皆様へは、これまでの「OSG通信」の代わりとして、上半期は「OSGレポート(ダイジェスト版)」をお送りさせていただきます。通期のご報告は、これまで通り「OSG通信」をお送りさせていただきます。

ぜひご一読下さい。

「OSG レポート 2017」オリジナル版

オーエスジーのWebサイトでは、オリジナル版(原本)の冊子PDF(全ページ)をご覧いただけます。

冊子をご希望の方は、当社Webサイトの投資家情報に関するお問い合わせフォームよりご請求下さい。



冊子PDF: https://www.osg.co.jp/about_us/ir/financial/file/OSG_integrated_reporting_2017.pdf

JAPAN

1938年

大沢秀雄が東京に(株)大沢螺子研削所を創設し、タップ・ダイスの製造を開始



1963年

転造平ダイスの製造開始



1970年

ハイスエンドミルの製造を開始



1981年

東京・名古屋証券取引所の市場第1部に上場

1984年

ドリルの製造を開始



1992年

オーエスジー販売(株)と合併

The Path Behind

磨き抜いてきた技術とチャレンジ精神で 海外への大胆な展開を進めてきたオーエスジー80年の歴史

オーエスジーは、創立以来80年間、砥石でタップを研削する技術をはじめとするさまざまな独自技術の開発と海外での独自販売ルートの開拓を通じて、企業価値を高め続けてきました。今では世界トップシェアを誇るタップを柱に、エンドミル、ドリル、転造工具などを製造・販売する総合工具メーカーに成長しました。これからも創業から引き継がれる確かな技術力とチャレンジ精神で、時代の変化に対応した製品開発や新たな販売基盤を構築し、世界でのプレゼンスをさらに高めてまいります。

OVERSEAS

1968年

OSG Tap and Die (アメリカ)
(現OSG USA)



1974年

OSG Ferramentas de Precisão
(ブラジル) (現OSG Sulamericana
de Ferramentas)



1997年

欧州総括会社OSG Europe S.A.
(ベルギー)



2004年
デザインセンターを設立



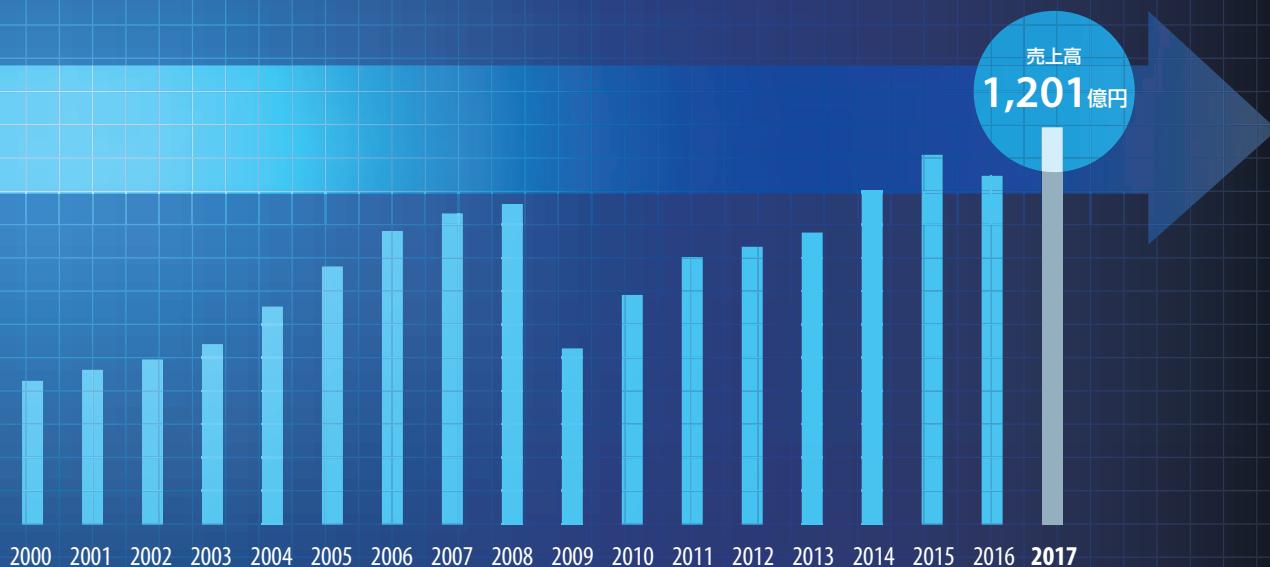
2006年
グローバルテクノロジーセンター
を設立



2010年
刃先交換式工具 OSG PHOENIX
の販売を開始



2017年
D-Labを設立



2001年
欧士机(上海)精密工具



2003年
OSG GmbH(ドイツ)



2012年
OSG Turkey(トルコ)



2016年
AMAMCO(アメリカ)





Isikawa

石川 則男

代表取締役社長兼CEO

100周年に向けた挑戦

経営環境の変化に対応し、独自の成長戦略を着実に実行することで、
社会や市場における存在価値、企業価値を、永続的に高め続けます。

創立80周年を迎えて

チャレンジし続けるDNA

昭和の初め、当時の日本には切削で作られたタップしかなく、研削で作られた高精度タップは海外から輸入されていました。「何とかして、国産の研削タップを作りたい」とそのような想いをもって、創業者大沢秀雄は、1938年3月国産研削タップメーカー「(株)大沢螺子研削所」を創業しました。それから80年、世界のタップ生産量の30%(当社調べ)を占めるまでとなりました。オーエスジーは人々の暮らしに欠かせないさまざまなものづくりに貢献したいという想いを持って、タップのみならず転造工具やねじゲージ、エンドミル、ドリル、刃先交換式工具、ツーリングシステム等を国内外のお客様に提供できる総合切削工具メーカーへ成長しました。

オーエスジーは企業理念として“地球会社”を掲げ、世界市場への拡大を続けることで各国のものづくり産業に貢献してまいりました。1968年のアメリカ進出を皮切りに、1970年台湾、1974年ブラジルと続き、海外進出より50年、今では世界33カ国、80社、6,000人を超えるグループ会社による、製造・販売・技術サポート体制を築くに至っております。

現在、当社の代表的な顧客である自動車産業は歴史的な変革期を迎えており、EV化に加え、自動運転、つながる技術など、急速に押し寄せる技術革新の波と、それに対する各自動車メーカーの対応については、当社にとって極めて重要な経営課題と認識しています。次世代を見据えつつ、必要に応じて適切な成長投資を行いながら、世界市場でどのような手を打っていくのか、経営陣は大きな危機感を持って取り組んでいます。世界のものづくり産業にどのように貢献できるのかを常に考え、いか

なる外部環境の変化にも強い企業であり続けるため、あらゆる可能性を視野に入れて最適な施策を打っていきたいと考えています。

オーエスジーは、2038年の創立100周年に向け、創業以来続く「チャレンジ精神」をもって、これまで積み上げてきた競争優位性をさらに磨き続け、持続的に企業価値を高めてまいります。

中期経営計画「The Next Stage 17」の進捗について

フロントラインの「進化」で受注力を強化

中期経営計画「The Next Stage 17」では、長期ビジョンである「世界トップの穴加工用切削工具メーカー」に向け、マイルストーンとして2020年11月期に売上高1,500億円、営業利益300億円という中期経営目標を設定し、この達成に向け二つの基本戦略を推し進めています。一つは、個々のお客様の加工ニーズをくみ取り、最適な工具と加工方法でソリューションを提供する「大手ユーザー戦略」です。もう一つは、より多くのお客様の生産性向上ニーズに応えることのできる、分かりやすいコンセプトの製品群で構成する「カタログ品戦略」です。「大手ユーザー戦略」ではテクニカルセンターの活用などにより受注力の進化が加速しています。「カタログ品戦略」においてはアメリカ、ドイツ、中国、日本などの切削工具の需要の大きな国々で流通網の整備、マーケティング、ブランディングといった全体的な枠組みが整ってきました。

中期経営計画1年目の2017年11月期は、マイルストーンである売上高1,500億円に向けた準備を着実に進めることができたと思えを感じています。例えば南アジアでは、フロントラ

創業以来受け継がれてきた「チャレンジ精神」を発揮し、
切削工具の提供を通じて
一層の企業価値向上に取り組むとともに、
社会の持続的な発展に貢献していきます。



インに小ロットの特殊品を提供できる生産設備の整備を進めてきました。私たちが各地域の最前線で展開している二つの基本戦略「大手ユーザー戦略」と「カタログ品戦略」を推進する力は一段と強化され、東欧やトルコ、東南アジアなどでの受注増加につながったと考えています。

このように、各フロントラインは、地域ごとに必要とされる施策を着実に展開し進化を続けています。各地域で顧客満足度を向上するための体制がより強化され、マイルストーン達成に向けた事業基盤の整備が進んだ1年となりました。

ステークホルダーの皆様へ

ガバナンスの強化を図るとともに、 企業市民として、社会的責任を果たす

2018年2月17日の定時株主総会での承認を経て、ガバナンス体制の変更を行いました。これは、経営監督機関と執行体制を明確に分離し、経営監督機関の構成員の過半を社外取締役とすることにより、機関決定の透明性、妥当性、公正性を確保

し、ガバナンスを強化するものです。今後も持続的な発展を実現していくために、「コーポレートガバナンス・コード」の原則を踏まえつつ、実効性を伴ったガバナンス体制の構築に努めていきます。

また、持続可能な社会に向けた取り組みを強めようという動きが世界で広がっています。環境問題や貧困、格差拡大などの課題を放置すれば経済成長は続かず、健全な社会を築くこともできません。当社は企業市民として社会的な責任を果たすべく、法令順守や社会的良識に公正で透明な企業活動を行うことを経営の基本としています。また、切削工具の開発から廃棄までの各領域において「省資源や省エネルギーの推進」「廃棄物の削減」への取り組みを進めるとともに、「環境に配慮した製品提供」にも取り組み、これからも環境の保全に努めていきます。

創業以来受け継がれてきた「チャレンジ精神」を発揮し、切削工具の提供を通じて一層の企業価値向上に取り組むとともに、社会の持続的な発展に貢献していきます。ステークホルダーの皆様には、今後とも変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



コーポレート・ガバナンス

実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制の整備と充実に継続的に取り組んでいきます。

企業統治体制の概要

2015年にガバナンス・コードが導入されて以来、あるべきコーポレート・ガバナンスの姿についての議論が盛んになされています。

当社は、2003年に執行役員制度を導入し、2016年2月20日開催の株主総会の決議により、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行する等、株主目線に立ったガバナンス体制についての取り組みを行ってきました。

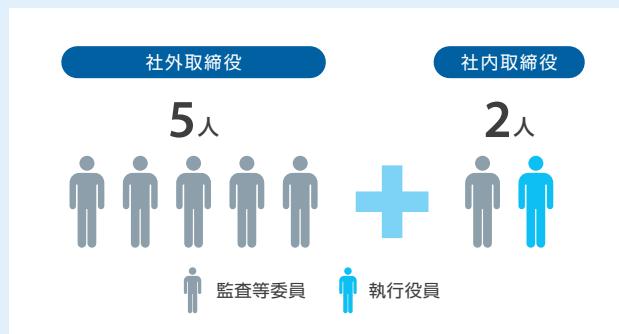
2018年2月17日開催の株主総会においては、監査等委員会設置会社に移行して2年がたち、監査等委員取締役が2年の任期を迎えることを機に、株主目線に立った企業統治体制について検討を重ねた結果、迅速な意思決定及び業務執行機能(執行役員)と監督機能(取締役会)を明確に分離することにしました。

すなわち、従来は業務執行を兼ねた取締役を含め14名いた取締役を7名に半減させ、7名のうち代表取締役社長のみがCEOとして執行役員を兼ね、残る6名全員が監査等委員である取締役としました。また、取締役7名中5名(3分の2以上)が独立役員である社外取締役という体制とし、外部からの視点を生かし、取締役会の透明性、独立性及び経営監督機能をこれまでで

上に高めることとしました。

また、当社は、取締役・執行役員等の指名及び報酬に関して、取締役会の諮問機関として指名・報酬委員会を設置しております。指名・報酬委員会は監査等委員である取締役全員で構成されており、6名の委員中5名が社外取締役となっております。

このように、業務執行を行う者(執行役員)と、それを監督する者(取締役)とを明確に分け、取締役と執行役員の指名と報酬については、社外取締役が過半数を占める指名・報酬委員会の諮問をうけて取締役会で決定するという仕組みとすることで、株主利益にかなったガバナンスを目指しております。

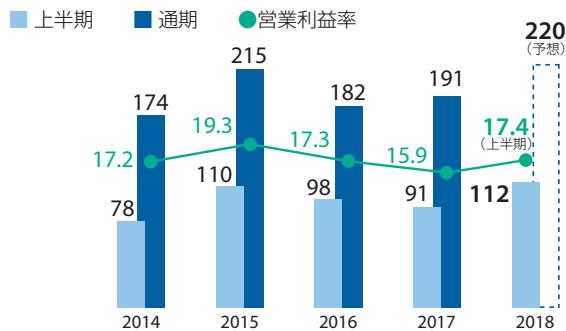


財務・非財務ハイライト

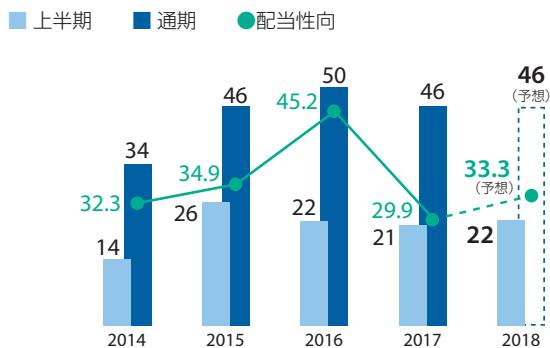
売上高(億円)



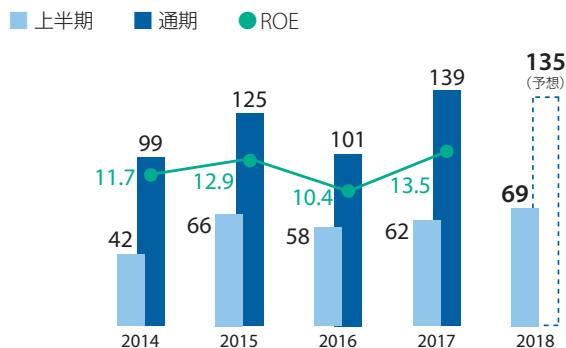
営業利益(億円) / 営業利益率(%)



配当金(円) / 配当性向(%)

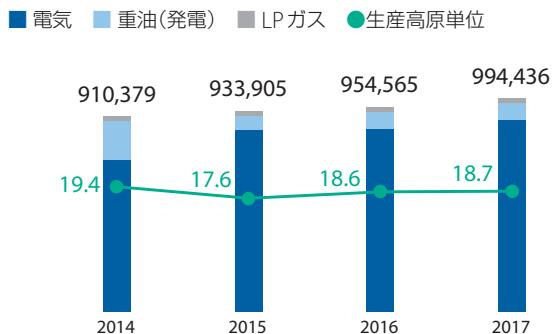


当期純利益(億円) / ROE(%)



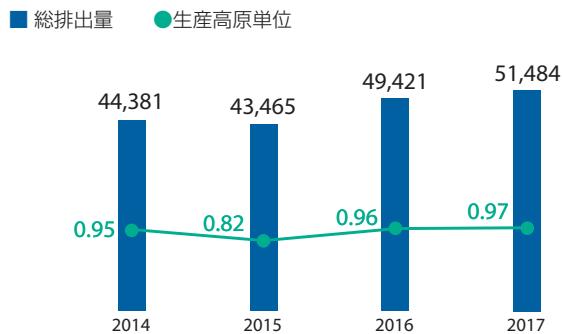
エネルギー使用量(GJ)

エネルギー使用量の生産高原単位(GJ/百万円)



CO₂排出量(t)

CO₂排出量の生産高原単位(t/百万円)



会社情報 / 株式情報

会社概要 (2018年5月31日現在)

商号 オーエスジー株式会社
OSG Corporation
本社 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
設立 1938年3月26日
資本金 120億59百万円
従業員 連結6,956名 単独1,819名
事業内容 切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・
機械部品の製造販売、工具の輸入販売

役員 (2018年5月31日現在)

代表取締役社長兼CEO (最高経営責任者) 石川 則男
取締役(監査等委員) 大沢 吾平
取締役(監査等委員) 中川 威雄*
取締役(監査等委員) 大森 宏幸*
取締役(監査等委員) 小野 喬四朗*
取締役(監査等委員) 榊 佳之*
取締役(監査等委員) 高橋 明人*
常務執行役員 大沢 伸朗
常務執行役員 大沢 二郎
常務執行役員 大沢 秀朗
常務執行役員 竹生 光志
上席執行役員 マイク グランサム
上席執行役員 彦坂 光義
上席執行役員 米田 能崇
執行役員 大野 博巳
執行役員 ジェフリー テナント
執行役員 澤田 和久
執行役員 富吉 剛弘
執行役員 久留 俊弘
執行役員 鈴木 康司
執行役員 大橋 英之
執行役員 杉原 健也
執行役員 鄭 承鎮

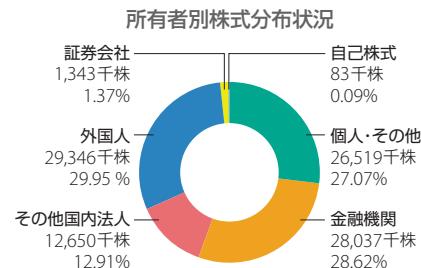
*取締役のうち、中川威雄、大森宏幸、小野喬四朗、榊佳之、高橋明人の各氏は社外取締役であります。

株式の状況 (2018年5月31日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株

発行済株式総数 97,981,921株

株主総数 7,608名



大株主の状況

株主名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	6,755	6.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,682	4.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,673	4.77
オーエスジーエージェント会	2,914	2.98
オーエスジー持株会	2,490	2.54
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,352	2.40
公益財団法人大澤科学技術振興財団	2,310	2.36
株式会社三井住友銀行	2,100	2.15
トヨタ自動車株式会社	2,100	2.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,754	1.79

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 所有株式数比率は自己株式を控除して算出してしております。

株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで

定時株主総会 毎年2月開催

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年11月30日
中間配当 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
https://www.osg.co.jp/about_us/ir/kessan/

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 東京・名古屋両取引所

証券コード 6136

OSG Today

OSG 80th Anniversary ~チャレンジし続けるDNA~

2018年3月26日にオーエスジーは創立80周年を迎えました。

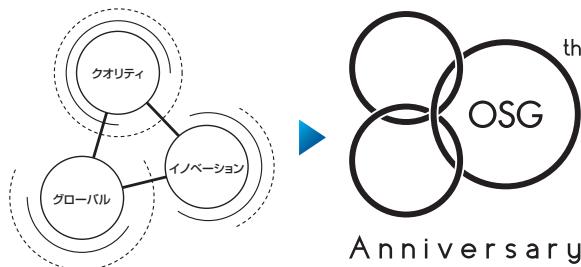
これもひとえに、皆さまのご支援の賜物であり、心から厚く御礼申し上げます。

これから先も、創立以来のチャレンジ精神をもって、100周年に向けて挑戦してまいります。

創業以来、製品・サービスあらゆる場面でOSGが守るべきものとしてきた「クオリティ」。1968年アメリカ進出以降、着実に歩みを進める「グローバル」。そして成長し続ける企業である為に、将来にわたって追い求める「イノベーション」。

これらの思いがこのロゴには込められています。

この3つの輪をさらに発展させ、100周年に邁進してまいります。



環境負荷低減活動の取り組み

廃棄物について、ゼロエミッション活動を推進してきました。

再利用、再生利用による資源が循環する仕組みづくり、

排出されるゴミを適正に処理する体制を確立させ

2005年から再資源化率99%以上を実現しています。



再資源化

金属屑(売却)	889.5 t
紙ダンボール(売却)	74.1 t
廃油(売却、リサイクル)	528.0 t
油泥(売却、リサイクル)	140.1 t
廃珪藻土(売却、リサイクル)	443.8 t
廃砥石(リサイクル)	40.8 t
廃プラ(リサイクル)	46.3 t
木屑(リサイクル)	90.9 t
その他(リサイクル)	53.0 t
総再資源化重量	2,306.4 t



〒442-8543 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地

TEL:0533-82-1111 FAX:0533-82-1131

<https://www.osg.co.jp/>

